

かてい学習の手びき

— 1年生・2年生用 —

あいら市立あいら小学校

- これには、みなさんが おうちで どんな 学習を すればよいか 書いてあります。
- おうちでは、学校で 学習したことを、その日のうちに もういちど 深く習することが 大切です。
- 深く習をして、あしたの学習のじゅんびをしましょう。

【学習をはじめる まえの やくそく】

- 1 テレビや ゲームの スイッチを けす。
- 2 学校からの 手紙や れんらくを たしかめる。
- 3 つくえの上を 整理・整とんする。
※ きょうかしょや ノートなどを、きちんと ならべる。
- 4 よい しせいで 学習する。

【学習の 時間の やくそく】

- 1 夜 おそくならないように、できるだけ 早い 時こくにはじめましょう。
- 2 まい日 がんばりましょう。「けいぞくは かなり」です。
- 3 1年生は、1日「30分」以上学習しましょう。
- 4 2年生は、1日「40分」以上学習しましょう。

【勉強時間の基本的な考え方】

- ①第1学年：「基本時間20分」＋「10分×学年数」＝20＋10＝30分
- ②第2学年：「基本時間20分」＋「10分×学年数」＝20＋20＝40分

【あしたの じゅんび】

- 1 きょうかしょ・ノート・ふでばこ・下じき・しゅくだいなどを、かばんにいれましたか。
- 2 ふでばこには、えんぴつ（5～6本）、赤えんぴつ、青えんぴつ、けしゴム、じょうぎが、はいつて いますか。
- 3 たいいくふく、ハンカチ、ちりがみ、ぼうし、ネームを、じゅんび しましたか。

かてい学習のてびき

— 1・2年生 —

【書き方】

- きょう、ならった字を、くりかえしかいておぼえましょう。
- きょうかしょや、ドリルをよく見て、「ひつじゅん」「とめ」「はね」「はらい」「字のかたち」に気をつけて、正しくかきましよう。

【本読み】

- 国語のきょうかしょを、声に出して、すらすらよめるように、れんしゅうしましょう。
- おうちの人にもきいてもらって、かんそうをききましよう。
- としょかんからかりた本なども、すすんでよみましよう。

【けいさんれんしゅう】

- きょうかしょや、ドリルのもんだいを、くりかえしれんしゅうしましょう。
- わからなかったところは、すすんでたずねましよう。

【にっき】

- きょう1日のせいかつの中で、「みつけたこと」「おもったこと」などを、くわしくかきましよう。
- かいたら、かならずよみましよう。

- ◎ このほかにも、たんにんの先生からのしゅくだいがあるときは、学習したことを思い出してとりくみましよう。
- ◎ 30～40分は、しっかり学習できるようにがんばりましよう。

家庭学習の手引き

— 3年生・4年生用 —

始良市立始良小学校

これは、3・4年生のみなさんが、家でどのような学習をすればよいかをまとめたものです。

今日、学校でどんな学習をしたか覚えていますか。学習したことを家で復習して、確認してみましょう。そして、明日の学習の内容を見てみましょう。

復習をすると明日の学習がより分かりやすくなります。また、予習をすると次の学習の見通しがもて、問題意識をもって学習にのぞむことができます。

【宅習を始める前の約束】

- 1 テレビやゲームのスイッチを消しましょう。
- 2 学校からの手紙やれんらくはないか確かめ、家の人にきちんとわたしましょう。
- 3 机の上を整理・整頓しましょう。
※ 教科書やノートなど、学習の道具をきちんとそろえましょう。
- 4 部屋を明るくし、正しいしせいで、学習をしましょう。

【宅習時間の約束】

- 1 宅習は、夜おそくならないように、できるだけ早い時こくに始めましょう。
- 2 宅習は、毎日がんばりましょう。「けい続は力なり」です。
- 3 3年生は、1日「50分」以上学習しましょう。
- 4 4年生は、1日「60分」以上学習しましょう。

【勉強時間の基本的な考え方】

①第3学年：「基本時間20分」＋「10分×学年数」＝20＋30＝50分

②第4学年：「基本時間20分」＋「10分×学年数」＝20＋40＝60分

さあ、始めましょう

【宅習内^{やくそく}よ^{やくそく}うの約束】

1 宿^{しゅくだい}題があるときは、まず、それから終わらせましょう。

分^{わか}ら^らな^いい^しは

- (1) 学校で学習したことを思い出しましょう。
- (2) ノートを見ながら、考えてみましょう。
- (3) 教科書やさんこう書を読みながら、考えてみましょう。
- (4) 家の人に聞いてみましょう。教えてくれる人がいなかった場合は、次の日に、先生や友だちにたずねましょう。



自分の分からないところに気づいたり、見つけたりできるのは、とてもすばらしいことです。分からないことは、先生や友だちに聞いたり、教えてもらったりして、かならず分かるようにしましょう。

2 漢字の練習をしましょう。

- (1) 読みがなや送りがなまで、ていねいに書きましょう。
- (2) 教科書や漢字ドリルなどの漢字を書きましょう。
- (3) 習った漢字が書けるようになったら、新しい漢字にもどんどんちょうせんしましょう。

3 国語の教科書で、学習したところを読みましょう。

※ 意味が分からない言葉は、じてんで調べましょう。

4 算数は、今日学習した問題をもう一度やってみましょう。

※ 問題^{もんだいしゅう}集などを使って、似たような問題をやりましょう。はかせマークも^{かくにん}確認しましょう。

5 理科や社会は、今日学習したところをもう一回読みましょう。

※ 大切なところや言葉を、宅習ノートにまとめましょう。

6 明日、学習するところを見てみましょう。

※ むずかしそうなところや、意味が分からないところをおさえておきましょう。

7 テストが返されたら、間ちがえた問題を、もう一度といてみましょう。

8 進んで、読書をしましょう。

※ 自分がきょうみのある本を図書館からかりて読んでみましょう。

9 今日一日の生活をふり返り、感想^{かんそう}を入れて日記にくわしく書きましょう。

宅習が終わったら

【宅習が終わってからの約束】

1 明日の時間割を確かめて、持って行くものをじゅんびしましょう。

- (1) 教科書・ノート・筆箱^{ふでばこ}・下じき・宿題などをかばんに入れましたか。
- (2) 筆箱には、鉛筆^{えんぴつ}（5～6本）、赤鉛筆、青鉛筆、消しゴム^{じょう}、定^{じょう}ぎが入っていますか。
- (3) 体育服、ハンカチ、ちり紙、ぼうし、ネームをじゅんびしましたか。

家庭学習の手引き

— 3・4年生 —

【 国 語 】

- ◎ 漢字の練習をしましょう。
 - 読みがなや送りがなまで、ていねいに書きましょう。
 - 教科書や漢字ドリルなどの漢字を書きましょう。
 - 漢字が書けるようになったら、新しい漢字にちょうせんしましょう。
- ◎ 教科書の学習したところを音読しましょう。
 - 意味が分からない言葉は、じてんで調べましょう。

【 理科・社会 】

- ◎ 今日学習したところを、もう一回読んでみましょう。(教科書やノート)
 - 大切なところや言葉を、宅習ノートにまとめましょう。

【 本を読もう 】

- ◎ 教科書は、声を出して、すらすら読めるように練習しましょう。
- ◎ たくさん本をかりて読みましょう。

【 算 数 】

- ◎ 今日学習した問題を、もう一度やってみましょう。
 - 問題集などを使って、似たような問題をやりましょう。
 - はかせマークも確認しましょう。
- ◎ テストが返されたら、間ちがえた問題をもう一度といてみましょう。
 - どうして間ちがえたのか確認しましょう。
- ◎ 次に習うところを予習しましょう。

【 ローマ字 】

- ◎ ローマ字を、書いたり読んだりして練習しましょう。

【 日 記 】

- ◎ 今日一日の生活をふり返り、感想を入れて日記にくわしく書きましょう。
 - 気づいたことや見つけたことなど、くわしく書きましょう。
 - 習った漢字は、進んで使いましょう。
 - 書いたら必ず読み直しましょう。

◎ このほかにも、先生から「課題」^{かだい}が出されることがあるので、よく説明を聞いて、取り組みましょう。

◎ 50～60分は、しっかり学習できるようにがんばりましょう。

家庭学習の手引き

— 5年生・6年生用 —

始良市立始良小学校

これは、5・6年生のみなさんが、家でどのような学習をすればよいかをまとめたものです。

今日、学校でどんな学習をしたか覚えていますか。学習したことを家で復習して、確認してみましょう。そして、明日の学習の内容を見てみましょう。

復習をすると明日の学習がより分かりやすくなります。また、予習をすると次の学習の見通しがもて、問題意識をもって学習にのぞむことができます。

たくしゅう【宅習を始める前の約束】

- 1 テレビやゲームのスイッチを消しましょう。
- 2 学校からの手紙や連絡はないか確かめ、家の人にきちんと渡しましょう。
- 3 机の上を整理・整頓しましょう。
※ 教科書やノートなど、学習の道具をきちんとそろえましょう。
- 4 部屋を明るくし、正しい姿勢で、学習をしましょう。

【宅習時間の約束】

- 1 宅習は、夜遅くならないように、できるだけ早い時刻に始めましょう。
- 2 宅習は、毎日がんばりましょう。「継続は力なり」です。
- 3 5年生は、1日「80分」以上学習しましょう。
- 4 6年生は、1日「90分」以上学習しましょう。

【勉強時間の基本的な考え方】

- ①第5学年：「基本時間30分」＋「10分×学年数」＝30＋50＝80分
- ②第6学年：「基本時間30分」＋「10分×学年数」＝30＋60＝90分

さあ、始めましょう

【宅習内容の約束】

1 宿題があるときは、まず、それから終わらせましょう。

もしも、
分からない時は

- (1) 学校で学習したことを思い出しましょう。
- (2) ノートを見ながら、考えてみましょう。
- (3) 教科書や参考書を読みながら、考えてみましょう。
- (4) 家の人に聞いてみましょう。教えてくれる人がいなかった場合は、次の日に、先生や友だちにたずねましょう。



自分の分からないところに気づいたり、見つけたりできるのは、とてもすばらしいことです。分からないことは、先生や友だちに聞いたり教えてもらったりして、かならず分かるようにしましょう。

2 漢字の練習をしましょう。

- (1) 読み仮名や送り仮名まで、ていねいに書きましょう。
- (2) 教科書や漢字ドリルなどの漢字を書きましょう。
- (3) 習った漢字が書けるようになったら、新しい漢字にもどんどん挑戦しましょう。

3 国語の教科書で、学習したところを読みましょう。

※ 意味が分からない言葉は、辞典で調べましょう。

4 算数は、今日学習した問題をもう一度やってみましょう。

※ 問題集などを使って、似たような問題をやりましょう。博士マークも確認しましょう。

5 理科や社会は、今日学習したところをもう一回読みましょう。

※ 大切なところや言葉を、宅習ノートにまとめましょう。

6 明日、学習するところを見てみましょう。

※ 難しそうなところや、意味が分からないところをおさえておきましょう。

7 テストが返されたら、間違えた問題を、もう一度解いてみましょう。

8 進んで、読書をしましょう。

※ 自分が興味のある本を図書館から借りて読んでみましょう。

9 今日一日の生活を振り返り、感想を入れて日記に詳しく書きましょう。

宅習が終わったら

【宅習が終わってからの約束】

1 明日の時間割を確かめて、持って行く物を準備しましょう。

- (1) 教科書・ノート・筆箱・下じき・宿題などをかばんに入れましたか。
- (2) 筆箱には、鉛筆（5～6本）、赤鉛筆、青鉛筆、消しゴム、定規が入っていますか。
- (3) 体育服、ハンカチ、ちり紙、帽子、ネームを準備しましたか。

家庭学習の手引き

— 5・6年生 —

【 国 語 】

- ◎ 漢字の練習をしましょう。
 - 読み仮名や送り仮名まで、ていねいに書きましょう。
 - 教科書や漢字ドリルなどの漢字を書きましょう。
 - 書けない字や読めない字から練習し、新しい漢字にも挑戦しましょう。
- ◎ 教科書の学習したところを音読しましょう。
 - 意味が分からない言葉は、辞典で調べましょう。

【 理科・社会 】

- ◎ 今日学習したところを、もう一回読んでみましょう。(教科書やノート)
 - 大切なところや言葉を、宅習ノートにまとめましょう。

【 本読み 】

- ◎ 教科書は、声を出して、すらすら読めるように練習しましょう。
- ◎ 進んで読書をしましょう。
 - 自分が興味のある本を、図書館からたくさん借りて読みましょう。

【 算 数 】

- ◎ 今日学習した問題を、もう一度やってみましょう。
 - 公式や学習のポイント、博士マークなどを確認しましょう。
- ◎ テストが返されたら、できなかった問題をもう一度解いて確認しましょう。
- ◎ 教科書やドリル、問題集などを使って、練習問題に取り組みましょう。

【 日 記 】

- ◎ 今日一日の生活を振り返り、感想を入れて日記に詳しく書きましょう。
 - 気づいたことや見つけたことなど、詳しく書きましょう。
 - 習った漢字は、進んで使いましょう。
 - 書いたら必ず読み直しましょう。

- ◎ このほかにも、先生から「課題」が出されることがあるので、よく説明を聞いて、取り組みましょう。
- ◎ 80～90分は、しっかり学習できるようにがんばりましょう。

<家庭学習ノートのまとめ方 国語>

- 新しい学習に入ったときに、その学習に出てくる言葉の意味調べをします。
- 調べた言葉で短文作りをします。
- 学習したことを大事なことをおさえて下の例のようにまとめてみます。

「海にねむる未来」について
三人の博士の研究は、生物の生きる知恵を研究して、地球や人類の問題を解決しようとしていたので、すごいと思った。

○意味の分からなかった言葉
細菌・たつた一つの細ぼう
ウィルス・細ぼうよりも小さな細菌

○短文作り
「いまだ手つかず」
ぼくは、夏休みが終わろうとしているのに、宿題が手つかずのままです。

漢字の使い方
漢字の熟語
漢字しりとり
左右↓右手↓手足↓足場
場合↓合格↓格言↓言動
動物↓物理↓科学↓学校
漢字熟語

朝 休 日 夕 曜

識 織 暑 熱

知識 織物 職員 暑い 暑い 暑い 暑い
お湯が熱い。(意味)気温が暑い。
(意味)冷たいの反対

<家庭学習ノートのまとめ方 社会>

- 授業で学習したことを、ノートや教科書を参考にまとめます。
- 大事なことを分かりやすく、絵や図などを入れてまとめます。
- 学習したことの感想もまとめて書くといいです。

☆ 教科書や学校でもらったプリント、ノートなどを参考にしてもう一度振り返って、大切なことからをまとめる学習。

3人の武将と天下統一

大名がたがいに争う戦国時代

↓

信長は天下統一をめざして戦った。

鉄砲を使った戦い。安土城を築く。
キリスト教の布教をみとめる。

↓

秀吉が天下を統一した。

明智光秀を倒す。検地と刀狩り。

☆ 自分でテーマを決めて、教科書や資料をもとに調べる学習。

- (自動車)について関係のあることをまとめてみよう。
- (200海里)をくわしく調べてみよう。

資料

<資料やグラフから分かること>
 ・年別に見ると次第に量が増えているが、○年は.....

★ 自分なりに工夫すると、楽しい学習ができます。

<家庭学習ノートのまとめ方 算数>

- 教科書やドリルの問題を解いていきます。
- 上下左右を1マスずつ空けると、とても見やすいノートになります。
- 線は引くときは、必ず定規を使うようにします。
- 計算のあとは大事な宝物！消さずに残しておくようにします。
- 答え合わせもして、まちがった問題は必ずやり直しをします。→ 力がぐんぐんついていきます。

○月○日 小数のかけ算

1. 2. 1×3. 2の筆算の仕方

$$\begin{array}{r} 2.5 \\ \times 2.4 \\ \hline 100 \\ 50 \\ \hline 600 \end{array}$$

(1) 小数点がないものとして整数の計算として計算する。
 (2) 積の小数点は、かけられる数とかける数の小数点より下のけたの数の和だけ、右から数えてつけます。

小数点より下の0は消す。

大事な言葉をまとめました。

2. 教科書 p.29 練習

① $\begin{array}{r} 1.2 \\ \times 2.4 \\ \hline 48 \\ 24 \\ \hline 288 \end{array}$	② $\begin{array}{r} 8.6 \\ \times 1.3 \\ \hline 258 \\ 86 \\ \hline 1118 \end{array}$	③ $\begin{array}{r} 3.6 \\ \times 6.7 \\ \hline 252 \\ 216 \\ \hline 2412 \end{array}$
④ $\begin{array}{r} 9.3 \\ \times 3.6 \\ \hline \end{array}$	⑤ $\begin{array}{r} 5.6 \\ \times 4.3 \\ \hline \end{array}$	⑥ $\begin{array}{r} 7.8 \\ \times 2.9 \\ \hline \end{array}$

<家庭学習ノートのまとめ方 理科>

- 学習したことをノートや教科書をもとにまとめます。(まる写しするのではなく、ポイントをおさえてまとめるようにします。)
- 問題→実験の方法→結果→分かったこと(まとめ)の順でまとめます。
- 実験の順序や使う道具、大事な言葉、注意することなど、しっかりまとめます。
- 図、絵、表を取り入れ、赤ペンなどで分かりやすくまとめます。

6/24 理科 植物のからだのはたらき

植物の葉に日光が当たると、でんぷんができるか調べよう。

方法(エチルアルコールを使う方法)

ア 日光に当てる。 ①湯につけてやわらかくする。

イ 日光に当てない。 ②エチルアルコールで色をとかし出す。

③湯で洗う。 ④うすいヨウ素液にひたす。

結果 日光に当たった葉・・・青むらさき色(でんぷんがある。)